

編集後記

今年度は信調（しなちょう）開所 60 周年ということで、これまでの歩みと信調の前身である新潟地盤沈下調査事務所時代から継続して調査している地盤沈下の状況を集めて取り上げましたが、いかがでしたでしょうか。

また、平成 28 年度から 5 年間にわたり新潟日報に掲載してきた「水利が拓く実りの明日へ」キャンペーンについて、最終年ということで総括フォーラムを令和 2 年 10 月 31 日に実施したところです（キャンペーンについては <https://minori-niigata.jp/> をご覧ください。）。

新潟平野は言わずと知れたゼロメートル地帯がそのほとんどを占めていますが、写真は新川の堤防から堤内地と堤外地を撮影したものです。普段、新潟市街にいと、あまりゼロメートル地帯であるということを認識することがありませんが、これほどまでに周辺の地盤が低く、川の水位が高いのかと実感させられます。

年間総流量が第 1 位の信濃川と第 2 位の阿賀野川が流れ込む新潟平野には、基幹的な農業用の排水機場が 33 箇所あり、そのうち 31 箇所では常時水位を監視し、運転を行っています。改めてそれらの施設を管理している関係機関の皆様に感謝申し上げて、筆を置きたいと思います。



新川の堤防（田潟排水機場付近）から下流側を臨む



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

北陸農政局

信濃川水系土地改良調査管理事務所

〒951-8133 新潟市中央区川岸町1丁目49番地3
電話 (025) 231-5141 (代) FAX (025) 231-6986
ホームページ: <http://www.maff.go.jp/hokuriku/kokuetsu/shinacho/index.html>

事務所までの案内

